

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2371100716
事業所名	グループホーム フレンズハウス七番町

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	日頃からホーム便りを町内にも配布し、地域住民からはお裾分けをいただくこともある。散歩に行けば気軽に声をかけてくれ、近所の方と立ち話が始まる。今年の秋祭はホームと町内とが同一日となり、お互いの祭りに出掛け盛況となった。当日は裏にある保育園の園児と父兄も参加し大いに賑わった。来年から地域と合同で防災訓練を実施することも決定している。	○
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	偶数月の第2水曜日に開催され、この1年間で6回の開催が確認された。区内の事業者連絡会が粘り強く参加を求めた結果、10月の会議から地域包括支援センター職員が参加するようになった。日程が合えば今後も参加してくれる。地域住民も参加し、行事予定や職員、入居者の異動が恒常的に報告され、外部評価についても詳細に説明されている。	○
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	行政への提出書類の不明な点、地域包括支援センターとの連絡は事務局から問い合わせられている。生活保護課とは日常的に情報をやり取りしている。市の福祉人材職員研修を研修の一環として取り込み、職員を派遣している。	○
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会は年1回開催されフレンズハウスグループの家族が一堂に会する。家族は訪問のたびに遠慮なく要望を述べ、連絡ノートにより周知されて、すぐに解決策が講じられる。ホーム便りは隔月で発行され、一人ひとりに対するコメントを添えて今年既に2回以上届けられた。	○
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	○				

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	（例示） 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	（例示） 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	（例示） 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。